

公益財団法人日本宇宙少年団
第4回理事会議事録

1. 開催日時 平成25年3月15日(金) 14:00~17:00
2. 開催場所 東京都千代田区丸の内1-6-5丸の内北口ビルディング
宇宙航空研究開発機構(JAXA)405会議室
3. 理事総数及び定足数 総数7名、定足数4名
4. 出席理事数 6名
(出席) 松本晟、稲田伊彦、麻生茂、井村洋、鍛冶壮一、的川泰宣(名簿順)
(欠席) 栢森秀行
(監事出席) 清水眞金、棚橋秀行
5. 議案

審議事項

- 第1号議案 諸規程の制定について
- 第2号議案 平成25年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- 第3号議案 活動委員会委員候補者の選任について

報告事項

- (1) 平成24年度決算見込みについて
- (2) 役員賠償責任保険の加入について
- (3) 基本財産及び特定資産積立金について
- (4) 団員会費の値上げのお知らせについて
- (5) 平成24年度連携団体長会議結果について
- (6) 平成24年度活動委員会活動結果及び平成25年度の計画について
- (7) スクールYACの設立認定について

6. 議事の経過及びその結果

- (1) 出席者及び定足数の確認
冒頭で稲田専務理事から本会議の出席者と定足数の充足を確認した。
- (2) 議長及び議事進行
定款第32条に基づき、本理事会の議長は、松本理事長が、そして、本会議の議事進行については稲田専務理事があたり審議に入った。
- (3) 前回議事録の確認
稲田専務理事より、発送済みである、平成24年度第3回公益財団法人日本宇宙少年団理事会の議事録について意見を求めたところ、異議なく承認された。
- (4) 議案の審議及び決議結果等

第1号議案 諸規程の制定について

稲田専務理事から、下記の3規程の審議をお願いする旨の説明があった。

1. 倫理規程(案)
2. コンプライアンス規程(案)
3. 印章取扱規程(案)

『1. 倫理規程(案)』及び『2. コンプライアンス規程(案)』について、稲田専務理事より説明を行い、全体的に意見を求めたところ、次の意見及び質疑応答があった。

麻生理事より、コンプライアンス規程の中に違反行為の通報者に不利益が生じないように同時に規定する必要があるのではないか、との質問があった。

これに対し、稲田専務理事より、通報者の保護の条文を入れることとする旨説明をし、意見交換の後、規程内容について、通報者の保護の条文を追加することで、本規程について諮ったところ、出席理事全員一致で可決した。

『3. 印章取扱規程（案）』について、稲田専務理事より説明を行い、全体的に意見を求めたところ、次の意見及び質疑応答があった。

麻生理事より、印章を使用する際の決裁者等の規定も必要ではないか、との意見があった。

棚橋監事より、改刻をした時や印章管理責任者と印章取扱者を指定した際の理事会への報告についての規定が必要ではないか、との意見があった。

また、現在銀行印と郵貯印を別にしてしているが、銀行印は一つにして管理を厳重にする必要があるという発言があり、事務局より早急にこれらを統一するように手続きを行いたいとの返答があった。

これらの意見交換ののち、次回、文言等の修正を行った上で、文書管理規程と一緒に再度提案することになった。

第2号議案 平成25年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

稲田専務理事から、資料No.2に基づき、平成25年度の実業計画(案)と収支予算(案)について説明を行い、事業計画の実施に際し、事務局の移転と登記場所の変更について言及された。

麻生理事より、事務局の移転について、JAXA宇宙教育センターとのコミュニケーションがとりにくくなる感じがあり、宇宙教育センターと話した時も同様に思っているようで、最低、週1回でも宇宙教育センターに活動の報告や相談を行うなど、これまでとほぼ同様の仕組みを維持しつつ連携を密にする必要がある。また、現在提案されているインキュベーションオフィスが事務局として本当に割安なのかを具体的に数字を示して欲しいとの意見があった。

的川理事より、相模原（JAXA宇宙教育センター）、調布（作業場所）、新しい事務局の3箇所連携ということになるが、事務局の場所の如何にかかわらず、JAXA宇宙教育センターと密に連絡を取り合うことが必要であるとの意見があった。

種々の意見交換の後、水ロケットコンテストについては、全国大会は実施しないが、ブロック大会まで実施するため、YAC全国共通プログラムとして事業計画に追加すること、また、平成25年度は「はやぶさ2」のキャンペーンが始まるところ、YACにおいてもキャンペーン推進の活動を行ってはどうかとの意見があり、事業計画に反映することになった。その後、事業計画及び収支予算について諮ったところ、出席理事全員一致で可決した。

第3号議案 活動委員会委員候補者の選任について

資料No.3に基づき、稲田専務理事から、活動委員会委員候補者について、資料の通りである旨の説明を行い、本件について諮ったところ、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

7. 報告事項

(1) 平成24年度決算見込みについて

稲田専務理事から、資料No.4に基づき、平成24年度決算見込みについて報告をした後、麻生理事から、平成25年度において、財務状況の把握を的確に

行うこと、理事・監事には毎月報告してほしいこと、平成24年度の決算時において、事業費と管理運営費を精査し、今後の計画に反映されたい、との意見があった。なお、稲田専務理事より、ダイコク電機株式会社様から特別賛助金として2百万円をいただくこととなった旨報告があった。

(2) 役員賠償責任保険の加入について

稲田専務理事から、資料No.5に基づき、役員賠償責任保険の加入について、資料に基づき説明を行い、公益財団法人に移行した平成24年8月1日に遡及して加入することとし、支払限度額を5千万円にするか1億円にするか、調査をし、結果を報告の上、決定することとした。

(3) 基本財産及び特定資産積立金について

稲田専務理事から、資料No.6に基づき、基本財産及び特定資産積立金について、ペイオフを意識して各金融機関に分散して定期預金とした旨の報告をした。

(4) 団員会費の値上げのお知らせについて

稲田専務理事から、資料No.7に基づき、団員会費の値上げのお知らせについて、団員及び指導員に送付した旨の報告をした。

(5) 平成24年度連携団体長会議結果について

麻生理事から、資料No.8に基づき、平成24年度連携団体長会議結果について報告をした。

(6) 平成24年度活動委員会活動結果及び平成25年度の計画について

麻生理事から、資料No.9に基づき、平成24年度活動委員会活動結果及び平成25年度の計画について報告をした。

(7) スクールYACの設立認定について

麻生理事から、資料No.10に基づき、佐賀県立唐津東高等学校から申請があったスクールYACの設立認定について説明し、出席者全員一致で了承した。

8. 参考資料

稲田専務理事から、参考資料1から6について説明を行った。

9. その他

麻生理事から、第2回衛星データコンテストについて、募集開始までに時間がかかってしまったため、募集期間を5月中旬まで延長、これに要する費用は特にかからない旨の報告があり、出席者全員一致で了承した。

棚橋監事より、経費節減に関し、評議員会等の開催に際して、企業の会議室を借用することを考えてはどうか、また、企業のホームページにYAC団員募集の掲載をお願いしてはどうかとの意見があり、事務局より評議員の企業メンバーに打診することになった。

最後に松本理事長より、宇宙の素材が多くあり、これを活用し、収入を得る方策の検討を行うべきとの意見がなされ、事務局として検討することとなった。

以上をもって議案の審議等を終了し、17時に終了した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した理事長及び監事は記名押印する。

平成25年3月25日

理事長

松 幸



監 事

清 水 眞 金



監 事

棚 橋 秀 行

